

震災と風景

第11回風景デザインワークショップ

風景デザイン研究会 熊本地震報告とディスカッション
風景デザインアワード 設立準備ワークショップ

2016年7月3日(日)
13:00~18:00

福岡大学
中央図書館
多目的ホール

参加無料

定員 180名
先着順

震災と風景

熊本地震。市街地から農山村部にかけて広範に被害をもたらした地震であり、未だ多くの方々が避難生活を余儀なくされています。また、重要な文化施設や交通網が被災したことにより、これまでに類を見ない文化財・観光災害であると言われていす。その復旧・復興に向けて様々な分野での対応が急ピッチで進められていますが、風景デザイン研究会としては、災害に対してしなやかで粘り強いまちづくりのためには、分野を横断した連携が不可欠であると認識しています。一方で、九州の風景づくりの拠り所を見出すことも急務であると考えています。その一助として、九州ならではの風景づくりの取り組みを顕彰する「風景デザインアワード」の設立を目指しています。

そこで今回の風景デザインワークショップでは、グリーンレジリエンス・災害に強い都市像・復興まちづくり・水源・中心商店街・石積み技術・建築・観光・ボランティアといった多面的な観点から熊本地震に関連した報告とディスカッションを行います。加えて、風景デザインアワードの設立に向けた第一歩となる自由な議論をワークショップ形式で行います。

ぜひ多くの皆様に会場まで足を運んでいただき、議論を深めることができると考えています。

風景デザイン研究会

プログラム

13:00～13:05 開会のあいさつ

風景デザイン研究会 熊本地震報告とディスカッション

13:05～15:30 風景デザイン研究会 熊本地震報告

- 「earth-quake/earth-design」…………… 星野裕司 (熊本大学准教授)
- 「熊本市街地の震災直後、現在、これから考えていくこと」…………… 増山晃太 (熊本大学学術研究員)
- 「避難所および仮設住宅の環境改善とデザイン」…………… 田中智之 (熊本大学准教授)
- 「熊本城の石垣。僕ら石工にまかせろ」…………… 緒方康幸 (株)オガタストーン代表取締役)
- 「集落(共同体)として取り組む黒川温泉の風景再生」…………… 徳永 哲 (ランドスケープアーキテクト)
- 「五感の風景を取り戻す復興 ー熊本の水辺からー」…………… 田中尚人 (熊本大学准教授)
- 「西原村で『支える人』を考える」…………… 田北雅裕 (九州大学専任講師)
- 「震災被害から、まち並みや住宅建築の形成過程を考察する」…………… 鮎川 透 ((株)環・設計工房代表取締役)
- 「震災時における自然資源の活用、グリーンレジリエンスへの提言」… 島谷幸宏 (九州大学教授)

15:40～16:10 ディスカッション/質疑

☆ コーディネータ 柴田久 (福岡大学教授)

風景デザインアワード 設立準備ワークショップ

16:25～16:35 趣旨説明

16:35～17:35 ワークショップ形式による議論および共有

「九州ならではの風景とは何か/どのような取り組みを顕彰するのか 等」

17:35～17:45 まとめ

☆ コーディネータ 山下三平 (九州産業大学教授)

17:45～17:50 閉会のあいさつ

お申込・お問合せ

- ① 氏名
- ② 所属 (勤務先)
- ③ 連絡先 (e-mailアドレス)
- ④ 風景デザインワークショップに参加・不参加
- ⑤ 懇親会に参加・不参加 をご記入の上、tomoya@fukuoka-u.ac.jpまでお申込下さい。

※懇親会について

風景デザインワークショップ終了後、18:00より福岡大学内食堂にて開催致します (会費制)。

※お申込の際に頂いた個人情報は本行事のみに利用致します。

風景デザイン研究会事務局
福岡大学景観まちづくり研究室内 石橋知也
092-871-6631 (内線6484)
tomoya@fukuoka-u.ac.jp

会場アクセス / 福岡大学 中央図書館 多目的ホール (1F)

